

ポーランド映画

Porland Film Selection III セレクションIII

ポーランド映画史に残る
傑作群、待望の札幌上映



「沈黙の声」「エロイカ」
「サラゴサの写本」「愛される方法」
「夏の終りの日」

ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

6月8日、9日

世界を驚かせたドキュメンタリーの
問題作、札幌初上映・両監督来場！



ドゥリガス監督
ジェラケヴィチュウテ監督
講演会+作品上映
「統合失調症」
「私の叫びを聞け」

札幌プラザ2・5

(旧東宝プラザ) 狸小路5丁目

主催：ポーランド現代映画セレクションIII実行委員会
(北海道ポーランド文化協会、札幌映画サークル)

協賛：ポーランド広報文化センター

後援：札幌市、札幌市教育委員会

予約/問合せ先：札幌映画サークル
電話・ファクス 011-747-7314



ポーランド映画セレクションⅢ

Porland Film Selection Ⅲ



エロイカ

監督：アンジェイ・ムンク
1957年／87分／デジタル

わずか5本の長編作品を残し40歳の若さで事故死したアンジェイ・ムンクは硬質で無垢な芸術表現、残酷なまでの知的リアリズム、人間に対する深い洞察をもつ作風で、現在もなお色あせることなく多くの作家に影響を与えている。ワルシャワ蜂起の内実と平和な収容所でおこる悲劇を2部構成で描いた本作。「戦争」を主題に扱うことの多い〈ポーランド派〉の代表的な1本である。



夏の終りの日

監督：タデウシュ・コンヴィツキ
1958年／66分／デジタル

戦争で精神を病んだ男と恋人を失った女のひとときの出会いを描いた本作は、来たるべき〈ヌーヴェル・ヴァーグ〉の時代を予見したとも言われるコンヴィツキのデビュー作。ポーランド文学を代表する作家でもある彼は、リトアニア生まれでワイダやカヴァレロヴィッチ作品の脚本家として映画界入りした異色の経歴をもつ。ヒロイン役イレーナ・ラスコフスカは実の妹。



沈黙の声

監督：カジミエシュ・クッツ
1960年／98分／デジタル

〈ポーランド派〉の活躍した時期に作られた作品ながら長い間論じられることのなかった幻の傑作。後のヌーヴェル・ヴァーグやアントニオニーの作品群を予見した映画である。逃亡兵と若い女の恋物語がわずかな台詞、ヴォイチェフ・キラルの音楽、大胆な画面構成で描かれ、製作当初当局からすぐに上映許可が下りなかった衝撃の1本。



愛される方法

監督：ヴォイチェフ・イエジー・ハス
1963年／97分／デジタル

K・ブランディスの同名小説に基づき、原作者自身が脚色。人気ラジオ女優がパリへ向かう機上で、戦時中ナチスに敵対した恋人と、彼を巡って自身が見舞われた悲劇を回想する。ムンクの「パサジェルカ」と同じく、女性の視点を通じて戦争を見つめた作品。英雄的闘争は対象化され、1人の女性が抑圧や不条理を受容しつつ静かに抵抗する姿が描かれる。サンフランシスコ映画祭グランプリ受賞。



サラゴサの写本

監督：ヴォイチェフ・イエジー・ハス
1965年／182分／デジタル

17世紀のスペインを舞台に繰り広げられる愛と冒険の物語。現代音楽の鬼才ペンデレツキのサウンドにのせて語られる本作は〈ポーランド派〉以降登場した歴史・文芸路線の代表的な1本。夢の論理をそのまま視覚化したような迷宮感覚は、今見ても衝撃的。ルイス・ブニエールをはじめコッポラ、スコセッシ、リンチ、グレイトフル・デッドのジェリー・ガルシアらが熱狂した超カルト的な幻想怪奇譚である。



私の叫びを聞け

監督：マチェイ・ドルィガス
1991年／46分

1968年9月8日ポーランド、大々的に開催された収獲祭の観客席で初老の男が自らの身体に火をつけ、焼身自殺を遂げる。この光景を記録する残されたわずか7秒の映像を頼りに、事件の全貌、彼の動機、そして人間像などが、目撃者の証言を基に考察される。歴史の闇へと葬られた真実へと迫る、社会サスペンス・ドキュメンタリー。



統合失調症

監督：ヴィタ・ジェラケヴィチュウテ
2001年／58分

ソ連では、1967年から1987年にかけて政治犯を「統合失調」と称し、市民権を奪い、特別施設に収容していた。カメラが収容所へと入り、その真実を暴く。政治犯の内面、彼らを治療する医師の人間性などが、カメラを通し探求される。衝撃の歴史ドキュメンタリー作品。

監督紹介

マチェイ・ドルィガス監督

1956年、ポーランドのウッチに生まれる。1981年全ロシア映画大学を卒業。クシユトフ・キェシロフスキの助手を務める。現在は、ウッチ国立映画大学で講師も務める。代表作『私の叫びを聞け』（1991年）、『他人の手紙』（2010年）など。



ヴィタ・ジェラケヴィチュウテ監督

1959年、リトアニアのカウナスに生まれる。全ロシア映画大学、ウッチ国立映画大学、卒業。代表作に『統合失調症』（2001年）、『壁の向こう』（2007年）。



ポーランド映画セレクションⅢ Porland Film Selection Ⅲ

6月8日(土)

9:30 開場
10:00 「エロイカ」
12:00 「愛される方法」
14:00 ドゥリガス監督・ジェラケヴィチュウテ監督
講演会+作品上映

14:00～14:20 監督挨拶
14:20 「統合失調症」
15:20 「私の叫びを聞け」
16:30～17:10 監督夫妻トーク+質疑応答

17:30 「沈黙の声」
19:30 「夏の終りの日」

6月9日(日)

9:30 開場
10:00 「夏の終りの日」
11:30 「沈黙の声」
13:30 「愛される方法」
15:30 「エロイカ」
17:30 「サラゴサの写本」

◎ 開場は両日とも9時30分
◎ 完全入替え制

料金 (すべて1作品の料金)

一般	前売り	1000円
	当日	1200円
シニア	前売り	1000円
	当日	1000円
学生	前売り	500円
	当日	700円

※6月8日のドキュメンタリープログラムのみ、この料金で2作品ご覧いただけます。

札幌映画サークル 
http://sapporocinema.net



■ ネット・クーポンもご利用ください
「札幌映画サークル」でHPで検索し、この上映会クーポン券をダウンロードしてください。ご持参の方は当日開場で前売り券を購入できます。